

ふるさと ふかや・渋沢学 の展開

DEVELOPMENT OF FURUSATO
FUKAYA・SHIBUSAWAGAKU

ふるさと
ふかや・
渋沢学

ふるさとを愛し、夢をもち、 志高く生きる大人への学び

～ 今求められている新しい教育！～

持続可能な地域社会の創り手を育成！～

「ふるさと ふかや・渋沢学」の理念

VISION

人口減少とグローバル化の進行する時代にあって、郷土の偉人・渋沢栄一翁の「立志と忠恕」の精神を育み、「持続可能な地域社会のまちづくり」に貢献できる人材を育成するため、市内の幼・保・小・中・高・大の各園・学校が、地域の関係団体や機関等と連携・協働し、豊富な教育資源を活用して、体系化されたカリキュラムづくりに取り組む中で、発達段階に応じた「ふるさと ふかや・渋沢学」を推進します。

「ふるさとふかや・渋沢学」
推進会議

市内幼稚園(1名)、保育園(1名)、小学校(2名)、中学校(2名)、特別支援学校(1名)、高等学校(5名)、大学(2名)、
深谷市教育委員会、学校運営協議会、PTA連合会、自治会連合会、公民館、商工会議所、商工会、青年会議所 等

深谷市の「ふるさと教育」の展開

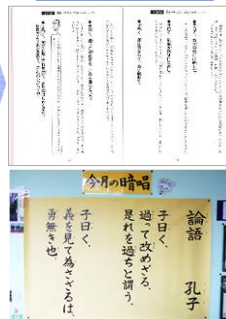
～ これまでの主な施策や取組～

「こころざし読本」の刊行

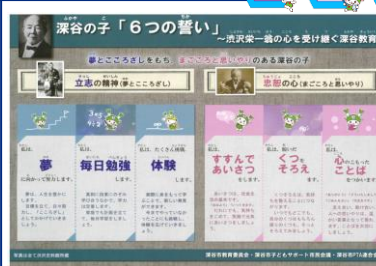


栄一翁に関する深谷市独自の副読本として、平成24年3月に「渋沢栄一こころざし読本」刊行以来、継続して刊行してきた。これらを道徳の授業や総合的な学習の時間等で活用している。また、この中には「論語」も掲載しており、小学校においては、これを暗唱課題として、子供たちが休み時間に校長室で暗唱の発表に取り組んだり、集会等で発表するなど、日常的に「論語」に触れる取組を行っている。

暗唱の取組



深谷の子「6つの誓い」



渋沢栄一翁の心を受け継ぎ、子供たちの望ましい習慣形成を図るため、平成27年に「深谷の子『6つの誓い』」を制定。その取組の1つとして、6月6日を「深谷の子『6つの誓い』の日」とし、子供たちに「立志の精神(夢とこころざし)」と「忠恕の心(まごころと思いやり)」を育む教育活動を推進している。

手紙でつむぐ「ありがとう」の思い



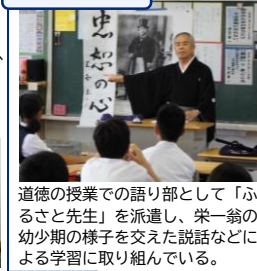
渋沢栄一翁が大切にしていた「忠恕の心」を受け継ぐ取組として、「ありがとう」の手紙の作品を毎年募集。(令和5年度で16回目)

こころざし深谷塾



栄一翁の心を受け継いでいくための取組の1つで、主にグローバル人材の育成に向けた国際塾(JICAと連携)や科学技術に関する科学塾を実施。

ふるさと先生



道徳の授業での語り部として「ふるさと先生」を派遣し、栄一翁の幼少期の様子を交えた話話などによる学習に取り組んでいる。

まごころ訪問



小学生が一人暮らしの高齢者に、育てた花(パンジー)と心を込めて書いた手紙を届ける「まごころ訪問」を、市立全小学校で実施。取組をとおして「まごころと思いやりのある深谷の子」を育成するとともに、「みんながうれしい深谷」のまちづくりを進めている。

市制10周年・深谷市歌制定



平成18年1月1日に、深谷市、岡部町、川本町、花園町の1市3町が合併し、新市誕生から10年という節目を迎えることから、深谷市誕生10周年記念式典が実施された。本事業は、テーマを「～未来に向かって生きる(飛翔～)」とし、志をもち、深谷の未来を担っていく子供たちによる演奏発表や中学生の語り合い等が行われ、深谷の未来に向けた新たな出発点となる機会となった。

平成20年 (2008年)	平成21年 (2009年)	平成22年 (2010年)	平成23年 (2011年)	平成24年 (2012年)	平成25年 (2013年)	平成26年 (2014年)	平成27年 (2015年)
<ul style="list-style-type: none"> ●手紙でつむぐ「ありがとう」の思い 	<ul style="list-style-type: none"> 3月 ●幼稚園教育要領 告示 ●小・中学校 学習指導要領 告示 	<ul style="list-style-type: none"> 3月 ●「こころざし深谷塾」 6月 ●「ふつかちゃん」誕生 (6月28日) 	<ul style="list-style-type: none"> ●「ふるさと先生」派遣授業 3月 ●東日本大震災 ●姉妹都市の岩手県 田野畑村が被災。様々な支援・交流へ。 	<ul style="list-style-type: none"> 4月 ●まごころ訪問 3月 ●「渋沢栄一こころざし読本」刊行 ●深谷市教育振興基本計画 策定 	<ul style="list-style-type: none"> ●「緑のバトン運動」 (学校で育てた苗木を贈り、植樹。) > 【忠恕】思いやり・社会貢献の心 	<ul style="list-style-type: none"> 3月 ●「青洲・こころざし歳時記」刊行 	<ul style="list-style-type: none"> 3月 ●小・中学校学習指導要領 告示 (一部改正) ●「特別の教科 道徳」の位置付け <ul style="list-style-type: none"> ●道徳の教科化 ●指導方法の改善 ●検定教科書の導入 など 5月 ●深谷の子「6つの誓い」制定 8月 ●深谷市誕生10周年式典 11月 ●深谷市歌の制定



めざす大人像

「ふるさとを愛し、夢をもち志高く生きる大人」

- 郷土の偉人、沢沢栄一翁を語るようになる
- 夢と学びのふるさと深谷のよさを知り、好きになる
- 夢と学びのふるさと深谷に誇りを持ち、よさを発信していく
- 夢と学びのふるさと深谷をよりよくしていく



ふるさとと深谷を愛し、持続可能なまちづくりに貢献できる人材の育成



- 各関係諸機関との連携の具体化
 - モデルカリキュラムの作成
 - 各校の取組発信
- ・深谷高校 ・深谷商業高校
 - ・深谷第一高校
 - ・深谷はばたき特別支援学校
 - ・成徳深谷高校 ・正智深谷高校
 - ・埼玉工業大学
 - ・東都大学
 - ・PTA連合会 ・自治会連合会
 - ・公民館 ・商工会議所
 - ・商工会 ・青年会議所 等

社会に開かれた教育課程【“よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る”という目標を学校と社会が共有】

令和の日本型教育【個別最適な学び・協働的な学び】

「深沢spirit inふかやGIGAスクール」の推進【「深沢spirit inふかやGIGAスクール」推進委員会との連携】

人材の循環
深谷で育ち、
深谷で学び、
深谷で働く!

新札発行決定



地元の深谷「誇り」



平成31年4月9日、新一万円札の発行と、その肖像に沢沢栄一翁が選ばれたことが発表された。このことにより、「ふるさとふかや・深沢学」の推進への機運が一層高まった。

沢沢栄一翁
ジュニアボランティアガイド

郷土の偉人 栄一翁を学んだ子供たちが、論語の里（栄一記念館や生家「中の家」）で、ボランティアガイドとして説明や案内をする。

全8回の講座を受け、認定された児童生徒が、指定された日の中で、可能な日にボランティアとしてガイドを実践できる。



● 講座の概要 全8回 ※ 令和元年度の実績

月 日	会 場	講座内容
10月12日 19日 26日	栄一記念館	開講式、講義、演習
11月 2日	東京方面(栄一翁関連施設)・1日	施設研修(バス移動)
11月 9日	栄一記念館・中の家	ガイド練習
11月16日 23日	栄一記念館・中の家・1日	実践練習
11月30日	八基公民館(栄一記念館)	振り回り、閉講式(認定)

顕彰活動をととして、子供たちに地域貢献意識を養い、ふるさとを愛し、次代を担う自覚を持った子供たちの育成を目指す取組である。

沢沢翁語らいの日



栄一翁の命日である11月11日を「沢沢翁語らいの日」とし、この日は、栄一翁に関する校長講話や全学級での栄一翁の生き方や食べ方を学ぶ授業、栄一翁が好きで食べた郷土料理である煮ぼうとう給食を実施し、栄一翁のことを語りひたる1日としている。(R3~)

多様な他者や関係機関等と連携・協働した
様々な教育活動の展開

オンライン交流



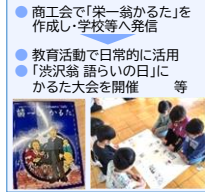
- 県内外の栄一翁かかりの地の学校と、栄一翁に関する学習成果を発表
- オンラインでつながった児童が互いに育てた藍の種を交換する取組等

体験・フィールドワーク



- 小・中学校での総合的な学習の時間を中心とした様々な体験活動
- 高校・大学でフィールドワークを単位認定する取組等

「栄一翁かるた」の活用



- 商工会で「栄一翁かるた」を作成し学校等へ発信
- 教育活動で日常的に活用
- 「沢沢翁語らいの日」にかかる大会を開催 等

「栄一コンクール」



- 「栄一コンクール」と称して、栄一翁の生き方を学び、それをテーマにした絵画作品を募集する取組を、地域団体が主催し、教育委員会が後援となって実施

市立小・中学校(全29校)が
コミュニティ・スクールに

市立の全小・中学校が学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールとして、PTAや学校応援団と連携・協働しながら子供たちの健全育成のための取組を推進している。

これにより、「ふるさと教育」の面でも地域総がかりでの教育が推進されている。

ふるさとキャリアパスポート

「ふるさと教育」を基盤としながら、自分らしい生き方の実現を促す「キャリア教育」を行うため、小1~中3までの学びを記録・蓄積するポートフォリオシートを作成し、各学校で活用されている。



「ふるさと ふかや・深沢学」
推進会議 発進



「ふるさと教育」を、オール深谷で推進するために、令和元年11月18日に推進会議を立ち上げた。施策の展開等に係る様々な協議を行ってきた。

アンケート調査

実態把握のための全数調査を実施。(R2.1月)

○調査対象(12,171人)
市内小学校3年生~市内在学大学生4年

平成28年
(2016年)

- 3月 ● 「深谷こころざし読本」刊行

平成29年
(2017年)

- 3月 ● 「深谷こころざし読本」刊行
- 3月 ● 幼稚園教育要領 告示
- 小・中学校 学習指導要領 告示
- 4月 ● 特別支援学校 学習指導要領 告示
- 4月 ● 市立小・中学校(全29校)がコミュニティ・スクールに!

平成30年
(2018年)

- 2月 ● 深谷の子「6つの誓い」の日 提言
- 3月 ● 高等学校 学習指導要領 告示
- 3月 ● 第2期深谷市教育振興基本計画 策定
- 「ふるさとキャリアパスポート」の作成

令和元年
(2019年)

- 4月 ● 新札発行決定
- 6月 ● 深谷の子「6つの誓い」の日の取組
- 10月 ● 沢沢栄一翁 ジュニアボランティアガイド 養成講座開始
- 11月 ● 「ふるさと ふかや・深沢学」推進会議 発進

令和2年
(2020年)

- 1月 ● 「ふるさとふかや・深沢学」アンケート調査
- 3月 ● 「沢沢栄一翁こころざし読本」刊行
- 3月 ● 新型コロナウイルスの感染拡大—学校の臨時休業—
- 「ふるさとふかや・深沢学」の施策の展開に大きく舵を切るところでコロナ禍に...

令和3年
(2021年)

- 1月 ● 大河ドラマ「青天を衝け」スタート
- 7月 ● 東京オリンピック 開幕
- 11月 ● 沢沢翁語らいの日

令和4年
(2022年)

- 多様な他者と協働した様々な教育活動 > オンライン交流 > フィールドワーク 等
- 「栄一コンクール」
- 「栄一翁かるた」の活用

令和5年
(2023年)

- 3月 ● 第3期深谷市教育振興基本計画 策定
- 11月 ● 「ふるさとふかや・深沢学」フォーラム 開催

「GIGAスクール構想」の早期実現!

- 一人一台端末の貸与
- 高速ネットワーク整備
- 教育DXの推進